

第56回愛媛県スポーツ少年大会軟式野球競技

(第45回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会愛媛県予選会)の競技規則及び方法

1. 大会特別競技規則

- (1) 試合時間は80分以内とし、その時間を過ぎて新しいイニングに入らないものとする。
- (2) 試合はトーナメント方式6回戦とする。
- (3) 制限時間内に規定のイニングを終了し同点の場合は、7回を限度に次の「タイブレーク」とする。
「タイブレーク」
継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者として、2塁の走者は順次、前の打者とする。
すなわち無死一、二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、最終メンバー9名による抽選において決する。
決勝戦は6回終了して同点の場合は、7回を「タイブレーク」として行い、勝敗が決しない場合は、最終メンバー9名の抽選において決する。
- (4) 投手の投球制限については、肘、肩の障害防止を考慮し1日70球まで(但し、4年生以下は60球以内)とする。
- (5) 抽選方法は、全日本軟式野球連盟「学童野球に関する事項」による。
- (6) 降雨、日没等により試合継続が困難となった場合、5回終了以降は正式試合とする。
- (7) 5回以降7点差のコールドゲームを適用するが、1回戦・準決勝は3回以降10点差のコールドゲームを適用する。
- (8) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティ(ボール)を課す。
- (9) 疑義は代表指導者(監督)または、当事者でなければならない。
- (10) 本規則に定められていない事項が生じた場合、審判員協議のうえ大会審判長の権限により処理する。

2. 危険防止のため次の用具を使用する。

- (1) 打者用ヘルメットは両側にイヤラップのついた物を7個用意し、打者、次打者、走者及び、ベースコーチは全員着用すること。
- (2) 捕手は捕手用ヘルメット、プロテクター、レグガード、スロートガード、ファウルカップを着用すること。
- (3) 上記の各用具及びバットは、全日本軟式野球連盟公認(JSBBマーク入り)であること。
- (4) 素振り用の鉄パイプ、バットリングは場内への持込を禁止する。
- (5) 金属スパイクの使用を禁止する。

3. 競技運営に関し、次のことを規定する。

- (1) 競技者の背番号は、算用数字で0番から99番までとし、主将は10番に統一する。
なお、必ず団員章を右そで又は胸に着用すること。
- (2) 試合中のダッグアウト(ベンチ)の中に入れる人員は次のとおり。
 - ・参加申込書に記載された代表指導者(監督)、引率指導者、選手とする。但し、このほかコーチ2名(スポーツ少年団登録者で参加申込書に記入された者)及び、スコアラ―1名、熱中症対策スタッフ2名とし、試合中の交代は認めない。
なお、スコアラ―及び熱中症対策スタッフは、団員以外の者とし、記録に関することや熱中症対応以外の行為は認めない。

- (3) 代表指導者（監督）の背番号は30番に統一する。なお、コーチの背番号は29番と28番とする。
- (4) ユニフォームは、代表指導者（監督）、コーチ、選手同一とする。
- (5) ダッグアウトで携帯用マイクを使用することは禁止する。但し、代表指導者（監督）に限りメガホンを使用することができる。
- (6) ダッグアウトは組み合わせの若番を1塁側とする。
- (7) 試合前のシートノックは行わない。
- (8) メンバー表は自6部（必ずふりがなを付けること）を提出することとし、第1試合のチームは開会式前に、第2試合以降は前の試合の4回終了時に大会本部へ提出する。
- (9) 前の試合が早く終了した場合、試合開始予定時刻前でも次の試合を開始する。
- (10) 試合開始時刻になっても会場へ到着していないチームは、原則として棄権と見なす。
- (11) 試合中、代表指導者（監督）はグラウンドへ入り指示を与えることができる。
- (12) 攻守交代は駆け足で行うこと。
- (13) 試合中のボールキーパーはそれぞれのチームの選手または保護者が行うものとする。（各チーム2名）
- (14) 小雨の場合でも日程の都合上、試合を行うことがある。
- (15) 雨天の際の連絡について
試合不可能の場合は、大会本部からチームへ連絡する。
- (16) チーム並びに応援団は、連盟の競技者規定に抵触しないよう注意すること。
特に、投手がモーションに入れば、応援は止めなければならない。
また、好ましくない応援や野次に対しては、審判員が注意する。

大会運営に関する規定

1. 代表者会議について

- (1) 代表者会議には、チームの代表指導者（監督）及び、主将が出席すること。
- (2) この会議に出席しないチームは、原則として棄権と見なす。
- (3) この会議で説明または決められた事項は、チーム及び、応援関係者に必ず徹底させること。
- (4) この会議では次のことを行う。
 - ア. 参加申込書提出後は、原則として選手の追加並びに変更は認めない。
また、参加申込書に記載してある背番号の変更も認めない。
 - イ. 代表指導者（監督）及び引率指導者の交代の確認
 - ウ. 大会特別競技規則等の説明
 - エ. その他大会運営にかかる必要事項

2. 開・閉会式について

- (1) 開会式には全員必ず出席すること。開会式に参加しないチームは原則として棄権と見なす。
- (2) 開・閉会式における参加指導者・団員の服装は競技時のユニフォームとする。
- (3) 開会式における入場行進は、組合せ若番順にプラカード・チーム団旗・スポーツ少年団旗を先頭に、選手は身長の高い順に行進する。
団旗はバンドを使用せず、右手は右肩の位置、左手は左腰の位置で保持し入場行進を行う。
- (4) 参加申込書に記載した選手以外で、ユニフォームを着用した団員は開会式への参加を認める。
但し、試合中のダッグアウト（ベンチ）入りは認めない。
- (5) 開会式における日本スポーツ少年団団員綱領宣言は、参加チームの代表5チームの主将により行う。
- (6) 参加申込書に記載した選手以外の団員は、試合中、ダッグアウト入りを認めない。但し、本大会は交流も兼ねているため、代表者会議の了解が得られた場合は特別に認めることがある。
※チーム団旗及びスポーツ少年団旗は、各チーム必ず持参すること。
- (7) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開会式を簡素化又は中止する場合がある。